

平成 29 年度

国際日本文化研究センター・京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター共同シンポジウム  
「浪花節と講談の関係を探る」

日文研機関拠点型基幹研究プロジェクト「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」と京都市芸大日本伝統音楽研究センターとの共催により、時田アリソン同センター所長の退任記念を兼ねる同センター「軍記語り物週間」（平成 30 年 2 月 8 - 15 日）の一部として開催する。

平成 30 年 2 月 12 日（月・振替祝日） 午後 1:00 ～ 5:30

於： 国際日本文化研究センター 第 5 共同研究室

13:00 挨拶

小松和彦（国際日本文化研究センター・所長）

13:15 基調講演

マティルダ・マストラランジェロ（ローマ・サピエンツァ大学・教授）

「講談と説経節における女性の役割」

14:15 時田アリソン（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター・所長）

「浪曲の講談ものシリーズ」

14:45 真鍋昌賢（北九州市立大学・教授）

「語り芸と国家戦争」

15:15 古川綾子（国際日本文化研究センター・特任助教）

「日文研の浪曲 SP レコード・デジタルアーカイブについて」

15:45 休憩

16:00 旭堂南陵（4 代目、大阪芸術大学・客員教授）

「速記本の講談と浪花節」

16:30 北川純子（大阪教育大学・教授）

「東家楽浦（野口甫堂、1898-1978）による講談の浪曲化」

17:00 細川周平（国際日本文化研究センター・教授）

「日系ブラジル人の偉人伝浪曲」

17:30 総合討論

司会：細川周平

17:45 終了